

妊娠を希望する女性、妊婦とそのご家族へ

風しんから お腹のこどもを守りましょう

- 妊婦が風しんにかかることで、眼や耳、心臓に障害をもったこどもが生まれることがあります。
- この障害は、先天性風しん症候群（CRS: Congenital Rubella Syndrome）とよばれています。**

【皆様にできること】

妊婦

妊娠を
希望している人

妊婦の同居家族

☐ 抗体検査を受けましょう。

抗体価が低い場合

抗体価が低い場合

☐ ワクチン接種を検討しましょう。

※ワクチン接種後2ヶ月程度は、避妊するようにしましょう。

- ☐ 不要不急の外出を避け、人混みに近づかないようにしましょう。
 - ☐ 風しんを疑う症状（発熱、発しんなど）が出現した際は、医師に相談しましょう。
- ※妊娠中は、ワクチン接種を受けることができません。

